



宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 第2号＜概要版＞

10

平成29年7月15日(土)実施

発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

7月15日(土)の午後、宇部市総合福祉会館にて、第10回「宇部市新庁舎建設ワークショップ」を開催しました。25名の市民が8つのグループに分かれて、宇部らしい市民活動支援機能を中心に話し合いました。

これまで話し合った内容に基づき、第11回ワークショップでは、ワークショップ検討案を提案し、市民活動支援機能・まちづくり拠点機能についてより具体的に話し合いを進めます。より多くの市民のみなさんの意見に基づき基本設計案を作成していきたいと思いますのでワークショップへの参加をお願いします。



ワークショップの流れ

■第9回

日時：平成29年5月20日(土)14:00～

場所：ハミングロード新天町アーケード内

■第10回

日時：平成29年7月15日(土)13:30～

場所：宇部市総合福祉会館

■第11回

日時：平成29年8月5日(土)13:30～

場所：ときわ湖水ホール

■第12回

日時：平成29年9月23日(土)13:30～

場所：宇部市立図書館

第10回プログラム

1. はじめに
2. 市民が必要とする宇部らしい市民活動支援機能について考える
【設問1】情報発信コーナーについて
【設問2】多目的ホールについて
【設問3】市民活動交流コーナーについて
【設問4】飲食・休憩スペースについて
3. 市民活動支援機能・まちづくり拠点機能の全体についておさらいする
4. まとめ

新庁舎の配置が決まりました

宇部市新庁舎の配置について、事務局から説明しました。

●【基本計画のBパターン】をベースに基本設計作業を進めます

○新庁舎の配置計画に当たり、基本計画に掲げた「特に重視する5点」に基づき、アドバイザーの意見も参考に検討を行い、決定しました。

1. 建設費を抑制するため、可能な限り仮設庁舎を利用しないこと
2. 敷地北側の住宅地への日影の影響など、周辺環境への配慮を行うこと
3. 「宇部市にぎわいエコまち計画」「宇部市景観計画」に則り、景観・にぎわい形成に寄与すること
4. 新庁舎と駐車場・バス停とのアクセス性に配慮すること
5. 駐車場の進入路は、周辺道路状況に配慮した配置とすること



▲現駐車場部分に1期建物を建設し、移転後、現庁舎部分に2期建物を建設し、2棟構成とする案

宇部らしい市民活動支援機能について考えました

はじめに「行政から市民へ発信しているいくつかの活動」について市役所から説明した後、市民にとって必要な宇部らしい市民活動支援スペースのあり方について考えました。

設問

1

情報発信コーナーについて

基本計画の中で提案されている①展示ギャラリー、②図書コーナー、③特産物紹介、④観光案内情報が、宇部らしいコーナーとなるためにはどのようなことがポイントになると思いますか？

(表の数字は出された意見の数)

①展示ギャラリー

○市内の情報を発信する	6
○様々な展示をする	6
○展示のアイデア	3
○歴史を紹介する	2
○地図を活用する	2
○展示ギャラリーは必要	1

③特産物紹介

○特産物を販売する	13
○観光案内と特産物紹介を一体化する	10
○明るく緑のイメージに	2
○飲食店とのコラボやフェスタを企画	2

②図書コーナー

○市の資料の閲覧や、情報発信をする	4
○展示ギャラリーと一体化する	4
○絵本や山口県ゆかりの本を置く	2
○図書コーナーは必要	1
○図書コーナーは不要	1

④観光案内情報

○観光やイベント情報を発信する	23
○宇部市民に向けた情報を発信する	5
○特産物の情報を発信する	4
○観光案内情報は必要	1

⑤その他（シティセールスなど）

○市内外の情報を発信する	4
○レイアウトへの提案	2
○市役所を使いやすくする	2
○タクシーを使った観光を検討する	1
○立地を見直す	1



設問

2

多目的ホールについて

多目的ホールは、基本計画では平土間形式の150～200名規模のスペースとして提案されています。ホールの使い方について旗揚げアンケートで考えをお聞きしました。

①市庁舎の中にあるので、ヒストリア宇部よりも公共性の高い利用内容を優先すべき。	6人
②ヒストリア宇部のホールにはない設備や機能を備えたホールとして利用の幅を広げると良い。	10人
③利用料金や利用時間の点でヒストリア宇部のイベントホールと差別化すべき。	6人
④特に役割分担など考えない方が市民にとっては利用しやすいのではないか。	9人
⑤ その他	10人



その他を選んだ方のご意見

- 使い方がまだよく分からない。ヒストリア宇部だけでなくシルバーふれあいセンター等もあるのでもっとPRしてほしいし、どうしたら市民に情報を見てもらえるかを考えて欲しい。湖水ホールはすごく使いにくかった。
- 市役所の中にあるので市役所の方が主に使い、それ以外に市民の方が使うことになるので講演、会合、研修に使うようにした方が良いのではないかな。普通のイベントホールは市内各所にある。
- ②と⑤を選んだ。基本がなっていないホールばかりなので機能的で使い易い、いろんなことに使えるきちんとしたホールが市役所の中にあれば一つの売りになると思う。
- 他のホールを改造すればきちんとしたホールに出来るのではないかな。少し無駄な感じがする。ヒストリア宇部の方に直接アクセスできるような空中道路をつくるのも面白い。
- ホールは文化会館他、いくつもある。私もいろんなホールを使ってるが、空いててもったいない。きちんとした目的があるなら良いが、もう少し生産性のあるものをやった方が良いのではないかな。
- 例えば音楽的なイベントをする場合、違う目的で来ている市民に「うるさい」と思われると、市役所に苦情が行く。そうすると音楽的なイベントは出来なくなり結局、静かなイベントや会議しかできなくなる、そうした場合、市民の利用が果たして年間を通じてあるのかと思った。
- 何にでも使えると言うことは的が絞れていないということ。音楽に使うなら最初からそういう仕様にしないと騒音の問題が出てくると思う。ヒストリア宇部とは違う、特化したホールをつくることを考えたほうが良い。
- 基本的に必要ない。イベントホールが欲しいなら市議会の議会堂を使えば良い。議会は臨時の議会を除いて年に4回だが1議会は長くて5日、短い時は4日しか使わない。
- 市役所併設のホールではなくて、市役所の隣にある建物。ホールは公共性云々ではなくて、不特定多数の人を集めるのが目的だと思うので民間委託にしたら良い。委託された人は人を集めるイベントを考えなくてははいけないので。

設問3

市民活動交流コーナーを考える上で参考になる先行事例として、長岡市庁舎の市民協働スペースの使われ方について情報提供しました。

市民活動交流コーナーについて

設問4

宇部らしい食堂やカフェについて、5つのタイプから1つを選び、アイデアを出し合いました。
(表の数字は、そのタイプを選んだグループ数。複数を選んだため、グループ数とは不一致)

飲食・休憩スペースについて

①できるだけ安く食事が提供できる食堂	1
②値段は高めでもきちんとしたノウハウのある大手の業者に委託するレストランやカフェ	0
③障害者団体やボランティア団体に雇用の場の提供も兼ねてお願いする福祉カフェや子ども食堂	3
④毎日運営されなくてもイベント的に利用されるような調理スペース（調理スペースの貸出やセルフ方式のカフェ、レンタルボックス併設のカフェ、出前を利用した食堂）	3
⑤ その他	4



その他のアイデア

- ・商店街に影響の出ない値段設定。
- ・移動販売も活用
- ・食のPR機能も兼ねる。おいしい。
- ・特産品が食せる。
- ・夜、土日営業してほしい。
- ・コンビニ、売店があってスペースがあればよい。
- ・県庁のイメージ。ピーク時は食堂、それ以外はカフェや売店が利用できる。
- ・観光もかねて地域のものが食べられる
- ・味で勝負!!
- ・おいしい飲食のノウハウ
- ・市役所ならではの、もあるとうれしい。

市民活動支援機能・まちづくり拠点機能の全体についておさらいしました

市民活動支援機能・まちづくり拠点機能について、気になる点や提案を書きいただきました。

真締川公園と一体的に整備する

- 真締川公園と一体のいいの場に作る（現状は暗い）。現状は幅が狭く、落ち着いて花見ができない⇒広い公園
- 親水空間（チャンネル、門司港）
- ミズベリングウベを広場に取込む。
- オープンカフェが出来るスペース。真締川公園付近。
- 真締川公園との間の道路は廃止して、公園と一体化して整備してほしい。

広場の整備

- 平坦ではなく立体的にしても良いのでは
- 内外が一体となった空間
- BMXができるような広場。ストリート系スポーツ。
- LEDカラーチェンジによる照明ミストは絶対欲しい
- ライトアップ作戦できる仕掛けの準備
- 広場は透光式太陽電池パネルで屋根を作る
- イベント広場に屋根をつけて、全天候で使えるように。
- 祭りができるよう、芝生広場をつくる。
- 子どもの遊び場（遊具はいらない）
- 花火大会が展望できるように！
- 災害時に利用できるようにスペース
- 広場ならイベント時にほころがたたないような仕上げ（芝生、コンクリート）として欲しい。近隣地区。
- 展望タワーがあると良い。
- 憩いの場の活用方法がある程度、決める必要アリ。
- 噴水。憩いのシンボル。
- 庁舎前は広くイベントスペースを設ける。景観上の問題があれば柱、梁を設けてイベントスペースとする。
- 屋台、野外レストラン

周辺との関わり

- 周辺商店街の利用を行う事は出来ないか。
- 市民活動支援スペースを中央町にもっていく！
- 新天町、井筒屋への屋根のある道があると、大きな街構想になりうれしいです。
- 常盤通りと連携した道路整備

市民活動支援

- 市民活動支援について、展示ギャラリーや交流コーナーなどをまとめたい。
- 中間支援組織と役所との共同オフィス
- 博多の屋台みたいに市民活動の持ち込みができるまちづくりの拠点はいいか？
- 市民活動スペースを公園側に寄せる。
- NPOなどの拠点を庁舎に入れるべき。
- 市民活動支援を民間委託する。
- 5階建てと2階建てのスペースの使い方、活動の違いもはっきり使い分けのできる市役所

行きたくなる新庁舎

- まちづくり拠点スペースでいろいろなアイデアがあるが、「行ってみたい」と思えるイベントや景観など、目玉をつくらばいいのでは？
- 青空市など、市役所に少しでも行ってみたいくなる事。
- ちょっとした事で良いので、寄ってみたいくなる（宇部市の歴史を見られるようなもの。コーヒーを飲める）。
- 人の集まる、憩える宇部市役所
- たくさんの人とふれあえる場所

駐車場

- バス利用者は少ない。駐車場は近くに。南側駐車場は使い勝手が良い。
- 市民活動スペースと駐車場を近く。土日、利用しやすくなる。
- 臨時駐車場の区画はきちんとデザインしてほしい。
- 最低500台の駐車場。300台では足りない。

駐輪場

- 玄関前の駐輪場の整備位置の変更
- 駐輪場で、自転車の乗り方や自転車のイベントなどできると共生できるかも。

バス停

- バスを利用しやすくするため、バス停を庁舎敷地内に移動してほしい。

ファサード

- ファサードがどうなるか？

ホール

- 機能が充実したスタジオ形式のホール
- 時間制限なしに利用できるスペースが欲しい（例えば多目的ホール）。

利用しやすい空間

- 自由に作業が出来るような空間にして欲しい。音を出したい、ものをつくりたい、電気、水。
- 待ち合わせなどができるロビーを
- 会議後、話ができるちょっとしたスペースが欲しい（雑談）。
- 各スペースの入口を工夫する必要アリ。
- 外部空間と内部のつながり。若者も高齢者も気軽に集えるよう誘導できるエリア

情報発信

- 食堂、カフェは宇部の食文化のPR機能を担う。
- 特産物や手作り品を販売できるようなスペース+食堂
- 総合的な「宇部市のビジターセンター」としての機能を担うことが重要
- 市民の知恵や活動を集約する試みの情報を提供する。
- 宇部の歴史の発信



設計者からのコメント

今回はこの意見を基に市民活動支援スペースの具体的なあり方と、広場について素案をお出ししたいと思います。また庁舎がどういう形でまちに広がるべきかについても皆さんと議論していきたいと思っています。